美しい庶民の少女の伝説と唄

ここに並ぶ沖縄の古い様式の庶民が眠る墓。そのひとつが美しさと芯の強さで知られた女性、安里屋クヤマ（一七二二—一七九九）の安息の地です。

言い伝えによると、彼女は、絶大なる権力をもっていた琉球王国の役人が、彼女を自分の賄女にしようと迫ってきたのを拒否します。この気丈さが沖縄を代表する民謡、「安里屋ユンタ」という歌にうたい継がれています。クヤマはその後、生涯結婚せず独身で過ごしたそうです。役人を袖にするという当時では考えられない行為は、虐げられていた島民たちに大きな勇気を授けたことでしょう。

「安里屋ユンタ」は、現在では「新安里屋ユンタ」として編曲され、竹富島ばかりでなく世界中で歌われています。